


一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

令和2年2月7日

山北町議会議長 府川 輝夫 殿

受付番号	第1号	質問議員	11番	堀口恵一	
件名	高齢者の運転免許返納に対応した生活交通を				
要 旨					
<p>現在高齢化が進んでおり、運転能力の低下等による高齢者の免許返納希望者が増えている。又、若者の車離れも進んでいる。日々、生活公共交通の重要性が増しているが、現在の山北町の生活公共交通網は十分効率的とは言えず、町ではワーキンググループを立ち上げ調査研究しているところであり、議会においては総務環境常任委員会のメインテーマの一つとして議論を進めているところである。現在2台ある循環バスの別ルートでの運行、及びその循環バスの代替交通としての小型交通システムを広域地域連携、自動運転も視野に総合的に考えるのが適切と考える。</p> <p>そこで質問する。</p> <p>1. 成功例として、共和地区の地域住民による自主交通網がある。世帯年会費2000円で、山北駅御殿場線時刻に合わせた送迎と、予約制ドア to ドアでの病院などへの送迎も出来る。地域の生活交通の課題を町の補助や共和財産区の財源と住民自身の運転手としての協力により運行している。</p> <p>比較されるのは三保、清水地区であるが、富士急湘南バスがあるため、一見生活交通網があるように見えるが実際には登山など観光客に合わせた便であり料金も高く、本数も少なく生活交通としては無いに等しい状況である。観光バスと生活バスは別物であると関係各所に訴えていく必要がある。</p> <p>また、去年6月の一般質問では「(通称)南箱道路を利用して箱根へバス往復」を提案した際には清水、三保地区、開成町や大雄山駅方面など優先度の高い要望があると回答されていた。</p> <p>現在の循環バス1台を谷峨駅-丹沢湖(場合によっては玄倉ビジターセンターまで)間の往復にあて、本数は御殿場線時刻に合わせ、料金は200円程度にすれば生活交通になり地域生活交通空白地域解消に大きく役立つ、又バス停までの交通として年会費制の予約制ドア to ドアの軽車両も自主交通として運営すればと提案であるがどうか。</p>					

2. 松田方面は御殿場線があるのでよいが、開成、南足柄方面はアサヒビール行バスが向原大口経由で少しあるだけである。広域的に調整する必要があるが、現在の循環バス1台を山北駅－和田河原駅間の往復にあて、南足柄市や開成町との広域連携（途中現在工事中の南足柄「道の駅 足柄・金太郎のふるさと」利用も視野に入る）により大雄山線を利用した小田原市立病院など小田原方面へも交通の拡充をはかり、財政については運営負担の一部を南足柄市（場合によっては開成町に）にお願いする事も考えられるがどうか。

3. 現在、町の循環バスは2台あり、山北駅を起終点として、東部循環と西部循環、南部循環の3つの路線を回っている。しかし、朝の高校生の通学利用はあるものの、路線重複があったり、回っているため時間がかかり、効率が悪かったり、大型商業施設などへの利用も少しあるが行きは良いが帰りは荷物が多いと大変である。不便なるがゆえに利用者は少ない状況である。

毎朝通勤通学時間帯 7時25分から8時頃山北駅に到着する循環バスを見ているが2、3人利用者があればいい方である。

これは循環バスにするのではなく、小型のワゴン車程度で山北駅、東山北駅からそれぞれ放射状に近距離（10分程度で行ける範囲）を動き、御殿場線時刻表に合わせた予約制・会員制の車に対応すれば十分と考えるがどうか。